

ジャズ情報をネットで発信

「ジャズの演奏はまるで人生のよう。同じ曲でも二度と同じ演奏はなく、例えミスをしたとしても、メンバー同士が助け合う事で、思わぬ良い演奏に変わることがある」と、魅力を語るのは、ジャズライブの情報発信や主催をしている「Ejazz三原」の代表・中島美穂さんです。

中島さんは、幼少期からピアノなどの楽器を始め、現在はジャズのアルトサクソフーン奏者として活躍。6年前にステージに立っていたある日、観客から「三原でジャズが聞けると思わなかった」と言われたのがショックで、ジャズ仲間と共にグループ



▲楽器を手に笑顔を見せるEjazz三原の皆さん

を結成、ジャズに関する情報発信を始めました。当時は毎週のように市内各地でジャズが演奏されていたのに、ジャズ好きな人にすら知られていない状況で、驚きました。もともと三原でジャズを身近に感じられるようにしたい、という強い思いに駆られたんです」と振り返ります。

知り合いの演奏家や会場などから情報を得て、毎月フェイスブックで情報を発信。ジャズイベントも開催し、平成28年には、かつての西国街道に面した古民家・旧山脇邸(本町)で、ニューヨーク在住のミュージシャンを招いたライブを開きました。

少しづつジャズの機運が高まり、これからもっと活動に力を入れようとしていた矢先、新型コロナウイルス感染症の影響で市内の演奏会がことごとく中止に。仲間からは「人前で演奏する機会がないとモチベーションが保てない」との声が上がりました。「コロナ禍でも観客の前で演奏する方法はない



▲インスタグラムで生配信したライブ映像

か」と考え、ジャズ奏者やジャズが好きな30〜50歳の男女5人の現Ejazz三原のメンバーでインスタグラムやYouTubeのライブ配信機能を使った生配信を企画。

これまで配信したのは令和3年1月〜3月の3回。1回1時間程の演奏で、主に市内で活動するミュージシャンに出演してもらいました。視聴者からは「敷居が高いと思ってたジャズが、家で気軽に聴けてうれしかった」との反響があり、出演者からも「寄せられたコメントを見るのが楽しかった。また出演したい」と好評だったそうです。ジャズの演奏そのもののように、苦境をチャンスに変えたEjazz三原の皆さん。「コロナが落ち着いても、ライブの配信は続けていきたい」と今後の活動にも意欲的です。

※この企画は、三原の魅力発信するシティプロモーション事業の認定を受けた団体を紹介し、三原の魅力を再認識してこうというものです。

令和3(2021)年8月号
第197号 毎月1日発行
編集・発行 / 三原市広報戦略課

〒723-8600 広島県三原市港町三丁目5番1号
代表 ☎0848-642111 ☒0848-647101
E-mail: info@city.mihara.hiroshima.jp

再生紙と大豆インクを使用しています。
点字版や録音CDも発行しています。
問い合わせは広報戦略課 ☎0848-676007。

三原市の人口 (6月30日現在)	
※()内は前年同月との比較。	
世帯数	43,463 世帯 (-326)
人口	90,987 人 (-1,561)
男	43,710 人 (-815)
女	47,277 人 (-746)
※うち外国人住民は 2,103 人	
人口移動の詳細については 広島県人口移動月報 検索	

税などの納期 (普通徴収)	
○市県民税 (第2期)	
○国民健康保険税 (第2期)	
○介護保険料 (第2期)	
○後期高齢者医療保険料 (第2期)	
納期限	31日(火)まで
夜間収納・証明書交付業務の窓口 (19時まで)	毎週木曜日
航空機の騒音測定結果(6月分)(Lden)	
▶正広局 (本郷町善入寺正広)	=42.9
▶本郷局 (本郷町船木川西上)	=49.0

あ・と・が・き
表紙の撮影で訪れたすなみ海浜公園。撮影日は晴天で絶好の撮影日和でした。涼しい海風が吹き、澄んだ海水はひんやり足に心地良く、夏のジリジリと照りつける日差しを和らげてくれ、「爽やかな夏の海」を体感できました▼表紙の写真でお母さんと子どもたちの笑顔が撮れたときにはほっと一安心。長時間ありがとうございました。すなみ海浜公園は8月30日まで海水浴を楽しめます▼本格的な夏がやってきて暑い日が続いています。熱中症対策、コロナ対策を十分取りながら、私も夏を楽しみたいと思います(U)

**三原市公式LINEからも
新型コロナワクチン接種の予約ができます**

- ①「総合メニュー」の「新型コロナウイルス感染症情報」をタップ
- ②「ワクチン接種予約ページ」をタップ
- ③専用ページから予約

問 広報戦略課
(☎0848-67-6007)